

まごころサポート コンシェルジュ

矢吹周一郎さん・瑠美さんに聞く

—まごころサポートとは。

周一郎さん 高齢者の日々の暮らしの中で生じる困りごとに寄り添い、手助けをする生活支援サービスです。「コンシェルジュ」と呼ばれるスタッフが、地域の高齢者のさまざまな悩みや要望に耳を傾け、必要なサービスや商品を提供し、真心を込めてサポートしています。全国に広がるフランチャイズ事業で、私たちは「郡山やぶき店」として2022（令和4）年に参画しました。現在、5人のコンシェルジュが活動しています。

—始めたきっかけは。

周一郎さん 本業の矢吹燃料は家庭用燃料の販売や住宅設備の販売・施工、リフォームなど住まいに関する事業を幅広く手掛けています。仕事柄、地域の高齢者宅を訪れることも多く、「荷物を運んで」「ごみを処分して」などと頼まれたり、「けがをしても頼れる人がいない」といった悩みを耳にしたりすることが年々増えていました。

シニア世代の皆さんは、さまざまな「困りごと」が生じてても、我慢して暮らしていることを肌で感じ、解決の手助けができないかと考えるようになりまして。そうした手助けを仕事として取り組むことは地域社会のためになると信じ、事業化しました。

—どんな依頼があるのですか。

瑠美さん 家事や掃除、庭の手入れ、買い物代行、ごみの処分、病院への付き添いなど、依頼内容はさまざまです。家事の中でも、「洗濯は女性にお願いしたい」という条件があったり、「古里の味をもう一度食べたい」という要望を受けて食品を取り寄せたりするお手伝いもありました。

周一郎さん 連携している地域包括支援センターからサポートの依頼をいただくことや、私たちの支援では不十分な場合はセンターに相談して医療や介護につなげてもらうケー



矢吹周一郎さん(右) 郡山市出身。矢吹燃料代表取締役。2022年にシニアの生活支援サービス「まごころサポート」事業を開始。高齢者の「困った」を「楽しい」に変えたいと奮闘中。
矢吹瑠美さん 須賀川市出身。2010年に周一郎さんと結婚。中学2年と小学5年の2人の子育てと仕事、シニアのサポート業務に励む。

高齢者の生活を支援

スもあります。

—本業との両立は大変では。

瑠美さん 家事や掃除を頼まれることが多いのですが、決してその道のプロではないので苦労することもあります。頼ってくれる気持ちに応えたくて試行錯誤しながら頑張っています。

周一郎さん 1人暮らしの高齢者の依頼を受けて訪ねたら、家の中で倒れていたことがありました。発見が遅れたら命に関わるような深刻な状況に遭遇することもありますし、多様なニーズに迅速に対応するのは簡単ではありません。

ただ、本業の強みを生かせるサポート依頼も多くありますし、お手伝いするうちに水道工事を依頼されるなど本業につながったケースもあります。どちらの仕事も、「困ったときはいつでも頼れる存在であり続ける」という経営理念で両立させています。

—原動力は。

瑠美さん 何度かサポートを続けるうちに信頼してもらい、「誰にも頼めなかったことを助けてくれた。ありがとう」と声をかけられた時は、これまで味わったことのない喜びを感じました。誰かの役に立てる喜びは原動力になると思います。

—今後の目標は。

周一郎さん 高齢者の抱える「ちょっと困った」を「楽しい」に変えられるような仕掛けをしたいと思っています。例えば、高齢者がスマートフォンの使い方を覚えられる教室など。スマホを使って孫と交流できるようになったら、きっと笑顔が増えると思うんです。

瑠美さん 地域のシニア世代を支える事業に取り組む企業や人材が県内にもっと増えれば、より支援の幅が広がると思います。一方で、高齢でも元気な方がたくさんいるので、悩みに共感できる「シニアコンシェルジュ」として活躍してほしいと思います。仲間を増やしながら地域に貢献できる事業として成長していきたいです。

役に立てる喜び原動力



依頼を受け、高齢者宅の台所を掃除する瑠美さん



庭の草むしりをする、まごころサポートのコンシェルジュ

県内の「まごころサポート店」(全8店舗)

まごころサポート

みはる集報社店(三春町) 郡山福島ファイヤーボンス店、郡山安積コンビボックス店、郡山やぶき店(郡山市) いわきかねした店、いわきあしび店(いわき市) 福島コスモ店(福島市)、郡山須賀川ユアーズハウス店(須賀川市)
相談、問い合わせはフリーダイヤル (0120) 979141 (全店舗共通)

県健康づくり推進課主幹 前田香さんに聞く

2020(令和2)年10月1日時点の県内の高齢単身者世帯は8万7168世帯で、総世帯数の11%を超えています。2040年には、その割合は18%を上回り、生産年齢とされる15歳~65歳の人口は減少していくと予測されています。

高齢化の状況は全国的にも同様で、2025年には総人口の約5人に1人が75歳以上の後期高齢者となり、医療・介護・年金といった社会保障が限界に達するとされています。

こうした背景から、高齢者が住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしく生活できるよう、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援を一体的に提供できる体制として「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。

行政やボランティア、専門の従事者だけでなく、民間事業者が高

持続可能な体制構築必要



高齢化社会の現状と課題について話す前田さん

高齢者の生活支援に参画する「まごころサポート」のような取り組みは持続可能な高齢者支援として、今後ますます必要になってくると考えます。

さまざまな立場の方が地域の現状を知り、どういった施策が必要なのかを一緒に考え、地域ぐるみの取り組みが広がることを期待します。

福島牛焼肉セット 5人にプレゼント

夏バテ対策にぴったりな福島牛の焼肉セット(モモ、バラ、肩、計500g、税込み5500円相当)写真を5人にプレゼントします。お肉でタンパク質をしっかり摂取し



て猛暑を元気に乗り切りましょう。応募は①郵便番号、住

所、氏名、年齢、電話番号②ふくしまウーマンズ・アイへの意見を書いて、はがきかファクスかメールで。締め切りは31日午後5時、はがきは31日の消印有効。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。はがきの宛先は郵便番号960-8602、福島市太田町13の17「福島民

